

(3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

| 分類 | 定義 |
|--------|--|
| 最終需要財 | 鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く |
| 投資財 | 資本財と建設財の合計 |
| 資本財 | 主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財 |
| 建設財 | 建築用と土木用の合計 |
| 消費財 | 主として家計で購入される財 |
| 耐久消費財 | 耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品 |
| 非耐久消費財 | 耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品 |
| 生産財 | 鉱工業及び他の産業に原材料として投入される商品 ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く |

図4は、平成15年以降の特殊分類（財別）生産指数の推移を表したものである。

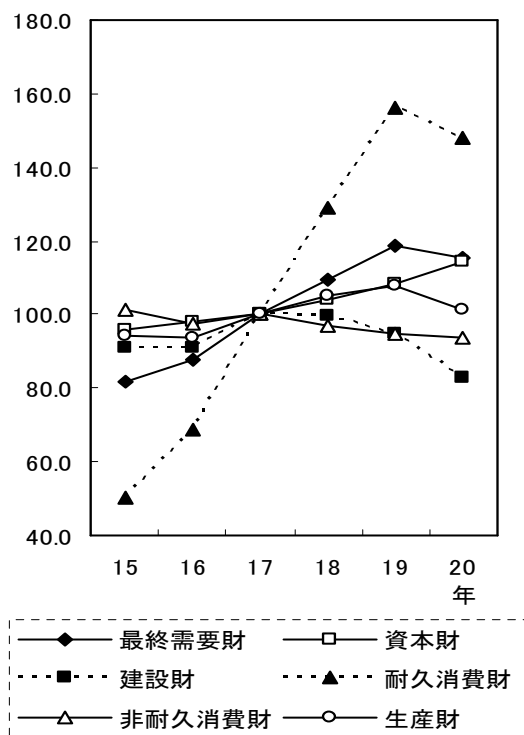
平成20年は、最終需要財は平成17年基準改定以後初めて低下し、生産財は4年ぶりに低下した。

表5 特殊分類（財別）生産指数

(統計表11)

| 分類 | 平成20年生産指数 | 前年比(%) |
|--------|-----------|--------|
| 鉱工業総合 | 107.0 | ▲ 4.5 |
| 最終需要財 | 115.5 | ▲ 2.6 |
| 投資財 | 103.4 | ▲ 0.5 |
| 資本財 | 114.1 | ▲ 5.1 |
| 建設財 | 82.7 | ▲ 12.9 |
| 消費財 | 125.1 | ▲ 4.0 |
| 耐久消費財 | 148.0 | ▲ 5.3 |
| 非耐久消費財 | 94.0 | ▲ 1.0 |
| 生産財 | 101.2 | ▲ 6.0 |

図4 特殊分類（財別）生産指数の推移
(統計表11)



(ア) 最終需要財

I 投資財

投資財の生産指数は、103.4で前年比▲0.5%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、114.1で前年比5.1%と5年連続の上昇となり、建設財の生産指数は、82.7で前年比▲12.9%と3年連続の低下となった。

II 消費財

消費財の生産指数は、125.1で前年比▲4.0%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、148.0で前年比▲5.3%と平成17年基準改定以後初めての低下となり、非耐久消費財の生産指数は、94.0で前年比▲1.0%と3年連続の低下となった。

(イ) 生産財

生産財の生産指数は、101.2で前年比▲6.0%と4年ぶりの低下となった。

図5は、総合生産指数の伸びに対する財別の寄与度について平成16年以降の推移を表したものである。平成20年は、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移

